

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和元年11月10日

事業所名：秦野市児童発達支援事業たんぽぽ教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	4	<ul style="list-style-type: none"> ・2クラスが、同室にいる時間（保護者も）は狭く、子ども同士がぶつかる事もあり危険に注意が必要。 ・ばなな部屋で子ども16名、保護者16名、職員6名＝38名の自由遊びで多動の子どもがいるとスペース狭く危険を念頭に入れて対応。 ・全員出席だとせまい。子供がぶつかることもあり危険。机の配置にも注意している。 ・定員8名クラスの2クラス合同、母子同室は混雑している様に感じる。 	★部屋数や敷地を増やすことはできない為、それぞれの子供の様子や状況を考察し、安全なサービス提供となるように心がけていく。
	2	職員の配置数は適切であるか	2	7	<ul style="list-style-type: none"> ・日常業務をまわす為、新たな教材は作れません。 ・職員が足りているとは思われない。現状の職員で対応することに限界がある。 ・業務量の見直しを図りたい。 ・フリーで動ける職員がいない。 ・足りていない。適切ではない。 ・業務への負担を感じている。 	★業務の執行状況や職員からの意見等を踏まえ、職員配置数を見直す。また、業務改善は各職員と検討し、効率化を図っていく。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	5	4	<ul style="list-style-type: none"> ・障害の特性を考えると、全ての方に合う環境ではないと感じる。 ・小集団なことや環境設定、人的環境な面も含め、限界を感じている。 ・集団活動の中で1人1人に合わせることは難しい。 ・小集団療育のため様々な特性の子供たちが利用している。その為、全ての子供に分かりやすく特性に応じられてはいないと感じる。 	★小集団での療育の中で個々の対応は難しいことも多々感じますが、集団であるからこそ見えてくる個々の様子に取り組んでいけるよう支援をすすめていく。

	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	3	<ul style="list-style-type: none"> ・小集団なことや環境設定、人的環境な面も含め限界を感じている。 ・クールダウンの部屋がなく、施錠も子供が簡単に開錠してしまう。鍵については改善が必要。 ・清潔ではある。 	★鍵の施錠については、安全面に考慮しつつ、防犯対策を含め関係機関との調整を図っていく。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	3	<ul style="list-style-type: none"> ・本部と距離があることや、児童と成人とのちがいもある為、業務改善の難しさを感じている。 ・法人全体で取り組めてはいないと思う。業務が改善されない。 	★法人の権利保障システムの周知と活用に努めていく。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	4	<ul style="list-style-type: none"> ・まだやった事がないので、わからない。 ・まだ評価を知らない。 ・業務改善につながっていない。 	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	5	<ul style="list-style-type: none"> ・まだやった事がないのでわからない。 ・まだ評価を知らない。 	★ホームページへ掲載している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	6	<ul style="list-style-type: none"> ・まだやった事がないのでわからない。 	★評価結果は、法人の第三者に報告し、ご意見を伺っている。また、その内容は各職員に周知を図っていく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	3	<ul style="list-style-type: none"> ・1年目の職員が多い中、時間や講師の確保が難しく、できていない現状がある。 ・1人1人の負担が大きく時間がとれない。 ・新しく入職した職員がほとんどで、日々の業務をこなすだけで研修の時間を作れていない。 	★外部研修の情報提供や参加できるように事業所全般の整備に努めていく。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	9	0		
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	3		

適切な支援の提供

12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8	1	・現在の私個人の状況ではたんぼ教室の運営を日々支援員として実行する事に精一杯だが、このガイドラインを読んでおこうにしたい。	
13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9	0		
14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	3	・1年目も多く、チーム全体というより経験のある人がリードして行っている。 ・チームで話し合う時間が無い。 ・経験が長く、知識のある人でないと立案できない。 ・起案をリーダーがしてから共有をするかたち。アイデアを固める事に個人的に時間がかかってしまうので、良い方法を考えていきたい。	
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	1	・固定化することの良さもあるお子さんたちなのでダメとは言えないと思う。	★クラス開催時のプログラム内容は、担当職員が集まり立案することで、個々の職員の視点だけではなく、多くの視点で組み立てている。また、クラス開催後の振り返りも子供の様子が薄れないよう、クラス開催直後に実施し、次のプログラムに繋げる努力をしている。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	7	2	・人的配置や対応職員のスキルのなさがあり、難しい。	
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	0		
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9	0		
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9	0		
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8	1		

21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	5		
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7	2		
23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	5	4	・お母さんからの聞き取りがメインとなっている。	
24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	3	6	・主治医と直接やり取りはしていない。	
25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	3	・図りたくても、できない(向こうの要求もない)のが現状です。 ・一部幼稚園のみ。相互理解とまではいかない。	
26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	5	・図りたくても、できない(向こうの要求もない)のが現状です。 ・小学校へは移行支援を行っていない。	
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	2		
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	8		
29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	8		
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	0		

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携

31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	4	5	<ul style="list-style-type: none"> ・実践では日々していますが、保護者に確認があるかは、わからない。 ・家族支援はしているが、ペアレントなどプログラムとして行ってはいない。 	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	1		
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	9	0		
34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	0		
35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	4	<ul style="list-style-type: none"> ・「〇〇の会」はないですが、おかあさん同士が交流できるよう促し、時間を設定していく。 	
36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・対応できる職員のみで行っており、対応できない職員の方が多い。 	
37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・1ヶ月毎にクラス通信を発行している。 	
38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	9	0		
39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	0		

40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	5		
41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7	2		★昨年度のサービス評価結果から不審者対応を目的とした防犯マニュアルの作成を検討してる。今後は、各職員への周知に努めていく。
42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	0		
43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8	1		★利用開始時に保護者からのフェイスシートに状況記載を依頼し、安全に対応できるよう配慮に努めている。
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	4	・事例にあった事がない。	
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	2	・事例集は作成していないが、ヒヤリハットの事例を文書で回覧し共有し改善した。 ・事例集は見たことないですが、事例が起きた時に回覧で回している。	★リスク管理は、日々のサービス提供を通じ、案件を記録するようにしている。また、1月から12月までの期間で集計し、まとめている。作成後は、各職員への周知を図っていく。
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	5		★毎年、全職員を対象として、虐待防止のチェックリストを活用した振り返り場面を設けている。この機会を通じて、認識と理解に繋げていく。
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	4	5	・パニック状態になり大声で暴れる子のクールダウンさせるための小さい部屋を危険のないようにクッションや優しい色で落ちつく部屋を用意、職員全員保護者にも事前に説明した。 ・身体拘束が必要なケースはない。	

※実施職員9名：非回答は「いいえ」に含む。